

に ほん ご      ぶん しょう      ろう どく      まな  
日本語の「文章」と「朗読(MP3)」で学ぶ

# 日本

(上册 MP3版)

こと ば      ぶん がく      ぶん か  
〈言葉〉と〈文学〉と〈文化〉

---

(日) 大森和夫 (日) 大森弘子 (中) 曲維 著  
(日) 笈川幸司 (日) 米川ルリ子 朗読

編集・発行＝日本・国際交流研究所

にほんご ぶんしょう ろうどく まな  
日本語の「文章」と「朗読(MP3)」で学ぶ

# 日本

(上册 MP3版)

---

(日) 大森和夫 (日) 大森弘子 (中) 曲維 著  
(日) 笈川幸司 (日) 米川ルリ子 朗読

編集・発行＝日本・国際交流研究所

外语教学与研究出版社  
北 京

京权图字：01 - 2009 - 3311

## 图书在版编目(CIP)数据

日本：MP3 版. 上册：日文 / (日) 大森和夫, (日) 大森弘子, 曲维著. — 北京：外语教学与研究出版社, 2009.7

ISBN 978 - 7 - 5600 - 8830 - 3

I. 日… II. ①大… ②大… ③曲… III. 日语—语言读物  
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 122533 号

你有你“优”——点击你的外语学习方案

[www.2u4u.com.cn](http://www.2u4u.com.cn)

阅读、视听、测试、交流  
购书享积分，积分换好书



出 版 人：于春迟

责任编辑：钟 诚

装帧设计：刘 冬

出版发行：外语教学与研究出版社

社 址：北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址：<http://www.fltrp.com>

印 刷：北京京师印务有限公司

开 本：650×980 1/16

印 张：20 彩插：0.5

版 次：2009 年 8 月第 1 版 2009 年 8 月第 1 次印刷

书 号：ISBN 978 - 7 - 5600 - 8830 - 3

定 价：50.00 元 (含 MP3 光盘一张)

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

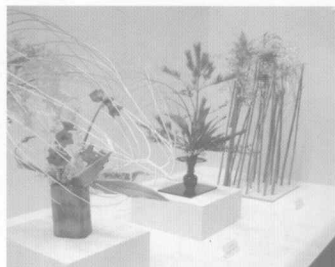
制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话：(010)88817519

物料号：188300001

ないよう かんれん しゃしん  
内容に関連する「カラー写真」  
にほん ぶんか  
日本の「文化」

か どう  
華道



さ どう  
茶道



いけのぼう てん じ  
「池坊」の展示  
はな てん  
〈2007年「花 FLOWER 展」・  
こくりつ か がくはくぶつかん  
国立科学博物館で〉

うらせん け ちゃかい  
「裏千家」の茶会  
たんこうかい いわ み し ぶ  
〈2007年・裏千家淡交会石見支部  
い せ い ね ん ぶ けいろうちやかい  
いわみ路青年部の敬老茶会〉

＊

＊

＊

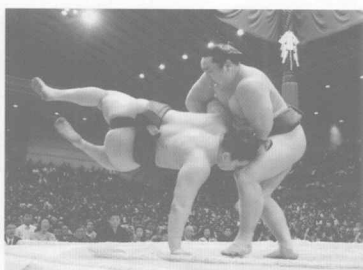
＊

＊

か ぶ き  
歌舞伎



す もう  
相撲



こ か ぶ き  
「子ども歌舞伎」  
さいたまけん ちちぶ ぐん お が の まち  
〈埼玉県秩父郡小鹿野町・〈2008年春場所・横綱「朝青龍」が横綱  
やまぐちきよふみ さつえい  
山口清文さん撮影〉

お お ず も う ゆうしやうけつていせん  
「大相撲の優勝決定戦」  
はる ば しょ よこづな あさしやうりゆう  
〈2008年春場所・横綱「朝青龍」が横綱  
はくほう こ て な しゅんかん  
「白鵬」に小手投げで勝った瞬間〉

けんどう  
剣道



すし



し あい  
「試合」  
ぜんにつぽんけんどうせんしゅけん けっしょうせん  
〈全日本剣道選手権の決勝戦

にぎ ずし  
「握り 鮓」

2

・2006年〉

※ い じょう しゃしん あさ ひ しんぶんしゃ ていきよう  
以上の写真は「朝日新聞社」提供

＊

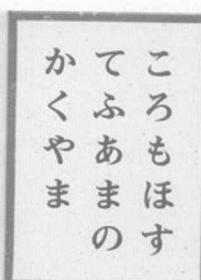
＊

＊

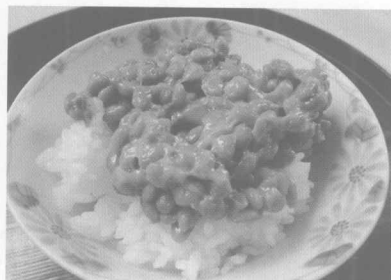
＊

＊

ひやくにんいつしゅうた  
百人一首歌かるた



なっとう  
納豆



え ふだ  
絵札

はる 春すぎて 夏きにけらし 白妙の

じ ふだ  
字札

ころもほす あま やま  
衣干てふ 天のかぐ山

# 「切手」に見る「日本」



- かんよう く きよみず ぶ  
 〓 【一】 第五章、慣用句（清水の舞  
 たい きよみずでらほんどう てんぶんがく  
 台） 〓 「清水寺本堂」 〓 「紫式部日記絵巻」

3

＊

＊

＊

＊

＊



- きんだいぶんがく  
 〓 【二】 第二章、近代文学一〓  
 なつめ そうせき  
 「夏目漱石」

- 〓 【二】 第二章、近代文学三〓  
 し まがき とうそん し  
 「島崎藤村と詩」



〈【二】第三章、近代文学一〉

〈【二】第三章、近代文学三〉

「<sup>ばしやうぞう</sup>芭蕉像・<sup>くしよ</sup>句の書」

「<sup>みやざわけんじ</sup>宮沢賢治」

4

句は「<sup>ゆく</sup>行く<sup>はる</sup>春や<sup>とり</sup>鳥啼き<sup>うお</sup>魚の<sup>め</sup>目に<sup>なみだ</sup>涙」

＊

＊

＊

＊

＊



〈【二】第四章、<sup>むかしばなし</sup>昔話一〉

〈【二】第四章、昔話二〉

「つるのはたおり」

「<sup>はな</sup>花さかじい」



〈【二】第四章、昔話四〉

うらしま たろう  
「浦島太郎」



〈【二】第四章、昔話五〉

いっすんぼうし  
「一寸法師」

＊

＊

＊

＊

＊



〈【三】第二章、伝統芸能一〉

かぶき かんじんちょう  
「歌舞伎〈勧進帳〉」



〈【三】第二章、伝統芸能二〉

のう はごろも  
「能〈羽衣〉」



〈【三】 第三章、伝統のスポーツ一〉 〈【三】 第三章、伝統のスポーツ二〉

すもう  
「相撲」

じゅうどう  
「柔道」

＊

＊

＊

＊

＊



〈【三】 第三章、伝統のスポーツ三〉

からて  
「空手」

※[切手の写真] 平成16年 6 月 4 日 郵模第1585号

平成17年 3 月 25日 郵模第1656号

# まえがき

かいがい にほん ご がくしゅうしゃ みな  
海外の日本語学習者の皆さん！

ひとり おお ひと にほん にほんじん し  
一人でも多くの人が「日本と日本人」のことを知って、日本  
のファンになってほしい、と願って「本書」と本文を朗読した  
「MP3」を作成しました。

にほんじん ひとり  
日本人の一人として、海外で多くの若者が「日本語」を学ん  
でいることに心から感謝致します。しかし、「日本と日本人」  
の「本当の姿」がどれだけ理解されているだろうか、という  
ふあん すく  
不安も少なくありません。

だいがく おし せんせい が た つぎ  
海外の大学で日本語を教えている先生方から、次のような  
はなし  
話をよく聞きます。

ひととお で き かん ち しき ひんじやく  
「日本語が一通り出来ても、日本に関する知識が貧弱な学生  
が多い。まして、日本の最新の情報や常識を知った上で日  
本について考えることは至難の業だ。」

ゆうこう ふか ぶん や こと  
「日本との友好を深めるためにも、日本のあらゆる分野の事  
柄を理解する日本語教育が必要だと思う。」

こうりゅう くに きず  
人と人の交流を深めて、国と国の友好を築いていくには、  
あいて くに ひと めん し ふ かけつ したが  
相手の国と人のいろいろな面を知ることが不可欠です。従っ  
て、「語学訓練」に偏らないで、「文化理解」を重視した日本  
語教育を進めることが海外の日本語教育にとって共通の大き  
な課題です。

がいこく ご まな むくてき がいこく こと ば よ か  
外国語を学ぶ大きな目的はまず、外国の言葉を読んだり、書  
いたり、話をしたりすることです。「言葉」を通して、その国  
の「社会」や「文化」や「人の考え方・心情」などを理解す

ることが出来れば、お互いの友好を一層深めることに役立ちます。

そこで、日本語を勉強しながら、「日本と日本人」について、さまざまな知識を身に付けてもらい、幅広く理解してもらうことを目指して、既刊の『日本』を全面的に書き直し、再編集しました。

「本文」のほかに「注釈と質問」も付けました。

そして、ほとんどの漢字にルビ〈振り仮名〉を付けました。

また、「日本人のように自然な日本語を話したい」、「日本語のイントネーション〈抑揚＝声を強めたり、弱めたりすること〉やアクセント（音の高低）を身に付けたい」という声をよく耳にします。こうした要望に応えるため、「本書」の「本文」を日本人が朗読した「MP3」を作製しました。

「本書」と「MP3」を活用して、「バランスの取れた日本語学習」によって、「幅広い日本理解」を深めてください。

2009年8月

国際交流研究所

〈大森 和夫・弘子〉

<sup>ほんぶん</sup> [本文、<sup>ちゅうしゃく</sup> 注 釈・<sup>しつもん</sup> 質問、<sup>ろうどく</sup> 朗 読・<sup>たんとうしゃ りやくれき</sup> MP3] 担当者の略歴

<sup>ほんぶん</sup> [本文]

☆大森和夫 1940 年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。朝日新聞記者（政治部、編集委員）を経て、1989 年に国際交流研究所を設立。「中国の大学生、院生『日本語作文コンクール』」の「作文集」や、「夫婦の『日本語交流』十九年間の足跡」などの編著書。現在、国際交流研究所所長。

☆大森弘子 1940 年生まれ。京都女子短期大学家政学部卒。「日本語教材『日本』」編集長。

※国際交流研究所 〒136-0076 日本・東京都江東区南砂  
6-7-36-709

メール=khomori8@u01.gate01.com

<sup>ちゅうしゃく</sup> [注 釈・<sup>しつもん</sup> 質問]

☆曲 維 1953 年生まれ。中国・遼寧師範大学卒。日本・同志社大学に留学、愛媛大学で中国語の専任講師。『日本の文字』、『新編基礎日本語』、『解雇』など著書、訳書多数。現在、遼寧師範大学副学長、同大学大学院教授。中国日語教学研究会副会長。

<sup>ろうどく</sup> [朗 読・MP3]

☆<sup>おいかわこうじ</sup> 笈川幸司 1970 年生まれ。日本大学文理学部教育学科卒。国会議員公設秘書、漫才師を経て、2001 年 7 月から中国・北京に滞在。2002 年 2 月以来、

中国・清華大学と北京大学で日本語教師。現在、清華大学人文社会学院に在籍。同時に、『発音、会話の秘訣』、『スピーチ・プレゼンテーション術』をテーマに、多くの大学で教育・講演を続けている。中国の学生たちの日本語サークル「KODAMA」を指導。

☆米川ルリ子 1972年生まれ。静岡県立吉田高等学校普通科卒。

2004年4月に、日本語教師420時間養成講座修了。公文式学習教室、北京市北方工業大学日本語課専任講師などを経て、現在、北京市REVIC有限会社勤務。

\* \* \* \* \*

●[題字「日本」]

大森弘子

# 目次

## 【一】 日本語

---

- 第一章 日本語の歴史／2  
第二章 日本語の性格／13  
第三章 話し言葉と書き言葉／21  
第四章 敬語／26  
第五章 慣用句／36  
第六章 四字熟語（数字を使ったもの）／44  
第七章 助数詞と言葉遊び／56  
第八章 新しい日本語「100語」（『広辞苑』から）／61

11

## 【二】 文学

---

- 第一章 古典文学／76  
一 源氏物語／76  
二 万葉集／85  
三 枕草子／93  
四 百人一首／105  
第二章 近代文学——小説／115  
一 夏目漱石／115  
二 森鷗外／125  
三 島崎藤村／133

四 おお え けんざぶろう  
大江健三郎／140

五 むらかみはる き  
村上春樹／145

第三章 きんだいぶんがく——はいく し たん か  
近代文学——俳句、詩、短歌／150

一 まつ お ぼしやう はいじん  
松尾芭蕉（俳人）／150

二 はいく き そ ち しき  
「俳句」の基礎知識／157

三 みやざわけん じ し じん どう わ さつ か  
宮沢賢治（詩人、童話作家）／161

四 いしかわたくぼく か じん  
石川啄木（歌人）／165

第四章 わかしばなし  
昔話／169

一 つる おんがえ  
鶴の恩返し／169

二 はな さ じい  
花咲か爺さん／175

三 もも た ろう  
桃太郎／182

四 うらしま た ろう  
浦島太郎／188

五 いっすんぼう し  
一寸法師／193

六 かさ じ ぞう  
笠地蔵／199

第五章 かるた

一 え ど きやう と  
江戸・京都の「いろは・がるた」／203

【三】 ぶん か  
文化

---

第一章 でんとうげいじゆつ  
伝統芸術／211

一 か どう い ばな  
華道・生け花／211

二 さ どう ちゃ ゆ  
茶道・茶の湯／227

第二章 でんとうげいのう 伝統芸能／238

一 かぶき 歌舞伎／238

二 のう きょうげん 能と狂言／248

第三章 でんとう 伝統のスポーツ／259

一 すもう 相撲／259

二 じゅうどう 柔道／273

三 からて 空手／279

四 けんどう 剣道／284

---

【四】 にほんりょうり 日本料理 わしょく (和食)

---

13

第一章 すし すし すし (寿司・鮓)／289

第二章 てん てんぶら 天ぷら (天麩羅)／296

第三章 や すき焼き／299

第四章 なっとう 納豆／304

あとがき／308

下冊の「目次」／310

【一】 にほんご 日本語

